

令和5年度

事業報告書

自 令和5年4月 1日

至 令和6年3月 31日

I 一般概要

(令和5年度の景況)

令和5年度の我が国経済は、コロナ禍の3年間を乗り越え改善しつつある。他方、個人消費や設備投資は、依然として力強さを欠いている。また、潜在成長率が0%台の低い水準で推移しているという課題もある。こうした中、令和5年度の実質国内総生産（実質GDP）成長率は1.6%程度、名目国内総生産（名目GDP）成長率は5.5%程度、消費者物価（総合）は3.0%程度の上昇率になると見込まれている。

令和5年度の新設住宅着工戸数は、持家は前年度比11.5%減と2年連続の減少、貸家は前年度比2.0%減と3年ぶりの減少、分譲住宅は前年比9.4%減と3年ぶりの減少、と全体で前年度比7.0%減の80.0万戸となり、2年連続の減少となった。

このうち木造住宅は前年度比4.6%減の45.1万戸、ツーバイフォー住宅は前年度比0.2%減の9.2万戸で、ともに2年連続の減少となっている。

(令和5年度の本会業務運営の状況)

令和5年度においては、上記の経済環境や木材産業を取り巻く景況等を踏まえ、次の事項に重点を置き円滑かつ効率的に事業を実施した。

- ① 公益性の発揮を推進するため、公益目的事業であるJAS事業の普及と業務量の受注に努める。
- ② 安定的な収入の確保を図るため、収益事業である受託事業の一層の拡大を図る。
- ③ 業務の円滑かつ効率的な推進を図るため、業務の改善や職員間の業務連携の強化に努める。
- ④ 職員研修の実施、関係資格の取得等マンパワーの充実に努める。
- ⑤ クリーンウッド法に基づく登録実施機関として、木材関連事業者の登録事務を推進する。

JAS認証工場の減少傾向が続く厳しい経営環境の中で、令和5年度もJAS認証工場の総数は減少した。また、事業活動についてはコロナ禍前の状況に戻ってきた。このため、経常収益及び経常費用はともに前年度を上回ることになった。特定資産評価損益等については、昨年よりも少なめの評価損となっており、全体では前年度を下回る当期経常増減額の減となった。

II 事業別概要

1 JAS 事業

(1) 新規工場の認証

新規認証は計画と同数となった。

区分	令和5年度計画 件数	令和5年度実績 件数
普通合板	2 (2)	3 (2)
天然木化粧合板	1 (0)	1 (0)
単層フローリング	0 (0)	1 (0)
複合フローリング	0 (0)	0 (0)
集成材	7 (2)	5 (2)
単板積層材	1 (1)	0 (0)
構造用パネル	1 (1)	0 (0)
枠組壁工法構造用たて継ぎ材	0 (0)	3 (0)
直交集成板	2 (0)	2 (0)
接着たて継ぎ材	3 (0)	2 (0)
合計	17 (6)	17 (4)

注1) 普通合板にはコンクリート型枠用合板及び構造用合板を含む。以下同じ。

注2) 天然木化粧合板には特殊加工化粧合板を含む。以下同じ。

注3) ()は海外工場数(内数)。

(2) 認証審査に伴う製品検査

製品検査件数は予定外の新規認証申請や、認証範囲の拡大などによる変更届に関する製品検査件数の増加により、計画を大幅に上回った。

区分	令和5年度計画 件数	令和5年度実績 件数
普通合板	3	31
天然木化粧合板	3	3
単層フローリング	0	3
複合フローリング	6	22
集成材	49	114
単板積層材	6	17
構造用パネル	3	0
枠組壁工法構造用たて継ぎ材	4	16
直交集成板	9	18
接着たて継ぎ材	6	2
合計	89	226

(3) 認証工場の監査

ほぼ計画どおりの実施であった。

区分	令和5年度計画 件数 (A)	令和5年度実績 件数 (B)	対計画比 (B)/(A)
普通合板	64	59	92%
天然木化粧合板	71	69	97%
単層フローリング	12	11	92%
複合フローリング	43	43	100%
集成材	158	156	99%
単板積層材	23	22	96%
構造用パネル	1	0	0%
枠組壁工法構造用たて継ぎ材	10	9	90%
直交集成板	10	10	100%
接着たて継ぎ材	4	2	50%
合計	396	381	96%

(4) JAS 認証審査委員会

本年度に開催した JAS 製造工場等の認証に関する審査委員会は次表のとおり、開催回数9回、審査対象工場数は18工場（審査対象区分14区分）であった。

開催日	審査対象工場								合計
	合板	フローリング	集成材	単板積層材	構造用パネル	枠組壁工法 構造用たて 継ぎ材	直交集成板	接着たて 継ぎ材	
R5.4.4			1						1
R5.4.11	2								2
R5.5.19						1			1
R5.7.12			2					1	3
R5.8.23						1	2		3
R5.12.7	1			1		1		1	4
R6.1.17			1						1
R6.3.6	1	1							2
R6.3.19			1						1
合計	4	1	5	1	0	3	2	2	18

(5) 講習・研修会

本年度に認証の技術的基準に基づき、下記の講習・研修会を行ない、計画を大きく超える実施となった。

- ・品質管理責任者講習会
- ・製品の板面の品質検査担当者選別研修会
- ・格付担当者格付講習会
- ・格付検査担当者技能研修会
- ・格付検査担当者技能研修会（材面のみ）
- ・格付責任者格付講習会

受講人数

区分	令和5年度計画 人数(A)	令和5年度実績 人数(B)	対計画比 (B)/(A)
合 板	203	97	48%
フ ロー リ ン グ	51	67	131%
集 成 材	183	577	315%
単 板 積 層 材	24	15	63%
構 造 用 パ ネ ル	0	0	—
枠組壁工法構造用たて継ぎ材	11	63	573%
直 交 集 成 板	8	18	225%
接 着 た て 継 ぎ 材	5	34	680%
合 計	485	871	180%

(6) 認証業務収入

単位：千円

区分		令和5年度 計画(A)	令和5年度 実績(B)	対計画比 (B)/(A)
認 証 等 手 数 料	普 通 合 板	20,560	22,770	111%
	天 然 木 化 粧 合 板	20,707	19,557	94%
	単 層 フ ロー リ ン グ	3,798	4,303	113%
	複 合 フ ロー リ ン グ	12,609	12,969	103%
	集 成 材	53,011	53,969	102%
	単 板 積 層 材	7,027	7,417	106%
	構 造 用 パ ネ ル	468	132	28%
	枠組壁工法構造用たて継ぎ材	3,202	4,891	153%
	直 交 集 成 板	3,565	4,065	114%
	接 着 た て 継 ぎ 材	2,286	1,243	54%
小 計	127,233	131,316	103%	
そ の 他 手 数 料	製 品 検 査 料	8,788	19,979	227%
	講 習 ・ 研 修 会 手 数 料	7,936	14,567	184%
	証 明 手 数 料	2	4	200%
	小 計	16,726	34,550	207%
合 計	143,959	165,866	115%	

注) 認証等手数料とは審査料、監査料、認証料、認証登録料、比較検査料のことである

(7) 検査

件数及び手数料はほぼ計画通りとなった。

検査件数

区分	令和5年度計画 件数(A)	令和5年度実績 件数(B)	対計画比 (B)/(A)
普通合板	1,067	1,034	97%
天然木化粧合板	745	721	97%
単層フローリング	150	133	89%
複合フローリング	943	990	105%
集 成 材	933	936	100%
単板積層材	237	209	88%
構造用パネル	8	1	13%
枠組壁工法構造用たて継ぎ材	36	41	114%
直交集成板	77	61	79%
接着たて継ぎ材	17	10	59%
合 計	4,213	4,136	98%

検査収入

単位：千円

区分		令和5年度 計画(A)	令和5年度 実績(B)	対計画比 (B)/(A)
受託検査 手数料	普通合板	70,184	70,452	100%
	天然木化粧合板	32,093	31,685	99%
	単層フローリング	6,230	5,992	96%
	複合フローリング	30,628	31,527	103%
	集 成 材	121,952	121,697	100%
	単板積層材	19,886	18,341	92%
	構造用パネル	1,340	493	37%
	枠組壁工法構造用たて継ぎ材	3,476	3,961	114%
	直交集成板	6,417	6,300	98%
	接着たて継ぎ材	1,123	847	75%
小 計	293,329	291,295	99%	
検査証明料	248	222	90%	
合 計	293,577	291,517	99%	

(8) 出張及び技術者派遣手数料

単位：千円

区分	令和5年度 計画(A)	令和5年度 実績(B)	対計画比 (B)/(A)
出張手数料	42,029	35,393	84%
技術者派遣手数料	0	1,063	—

2 受託事業

(1) 受託試験

受託試験はほぼ計画通りの実施であった。

区分	令和5年度 計画(A)	令和5年度 実績(B)	対計画比 (B)/(A)
受託件数	4,626件	4,624件	100%
受託収入	116,034千円	127,635千円	110%

(2) 優良木質建材等認証事業（AQ事業）

本会と(公財)日本住宅・木材技術センターとの業務基本契約に基づき次の業務を行った。

区分	令和5年度 計画(A)	令和5年度 実績(B)	対計画比 (B)/(A)
受託件数	24件	26件	108%
受託収入	2,923千円	3,392千円	116%

3 クリーンウッド法登録事業

登録事業は新規登録が 28件あり、計画を上回っている

(1) 新規登録

区分	令和5年度 計画(A)	令和5年度 実績(B)	対計画比 (B)/(A)
新規登録件数	10件	28件	280%
新規登録収入	420千円	1,119千円	266%

注) 登録事項変更は新規登録に含む。

(2) 年会費（1年毎の会費手数料）

区分	令和5年度 計画(A)	令和5年度 実績(B)	対計画比 (B)/(A)
会費件数	282件	280件	99%
会費収入	3,100千円	3,080千円	99%

(3) 登録更新（5年毎の更新手数料）

区分	令和5年度 計画(A)	令和5年度 実績(B)	対計画比 (B)/(A)
更新件数	63件	92件	146%
更新収入	760千円	1,113千円	146%

4 調査研究事業

- (1) 乾式法により防腐防蟻薬剤が注入された製材の A Q 認証に関する委員会への参加。
- (2) 接着剤混入法による防腐防蟻薬剤の分析方法改良等に関する委員会への参加。
- (3) 単板積層材の日本農林規格改正委員会への参加。
- (4) 計測機器、施設及び薬品類の管理に関する内部規定等改訂の検討。
- (5) JCSS 標準液によるホルムアルデヒド放散量検量線の信頼性に関する研究論文の投稿。
- (6) 合板、集成材、単板積層材、接着重ね材の JAS 規格の制定、見直しの原案作成委員会等へ出席。
- (7) 本会の JAS 認証工場の年間格付数量を集計し、令和 5 年版検査統計を作成。
- (8) ISO/TC165 及び ISO/TC218 国内対策委員会へ出席。

5 普及宣伝事業

前年度に引続き関連団体との連携を図り、一般消費者、流通、設計、施工業者等を対象に JAS の普及啓発に努めた。

(1) 木質建材に関する展示会等

開催日	名 称	主 催	開催場所
R5.12.6~8	エコプロ 2023	(一社)サステナブル経営推進機構、 日本経済新聞社	東京ビッグサイト
R6.3.12~15	建築・建材展 2024	日本経済新聞社	東京ビッグサイト

(2) 業界新聞社への情報提供

林政記者クラブに所属する新聞社等に対して本会の状況について、検査統計(ウェブによる掲載)、JAS 認証工場名簿、新規 JAS 認証工場に関する工場名、認証品目の情報を提供した。

(3) 検査会だよりの発行

関係業界、団体に本会の情報を提供するため検査会だよりを発行した。

(4) JAS 認証工場名簿の作成

流通、企画、設計、建築及び加工業界等が JAS 工場を索引する際の利便を図るため、令和 5 年度版 JAS 認証工場名簿を作成した。また、これらの業界に加え、官公庁、試験研究機関等に配布し JAS 製品の利用促進を図った。

(5) ホームページ等による情報公開等

本会の状況、その他木質建材に関連する情報等をウェブサイトにより紹介した。各種催し展示用 JAS 普及用パンフレットに加え、検査統計を掲載した。また、一般消費者等からの各種質問及び技術的相談に応じた。

JAS 認証工場名簿をウェブサイトの「認証等の公表」のページに「認証工場名簿 HP 掲載版」を PDF ファイルにて掲載している。

(6) 講師派遣

下表の講習会等に講師を派遣し JAS 制度及びクリーンウッド法の普及啓発を行なった。

開催日	講習会名称	主催	開催場所
R5.7.11	ジャパン建材会 クリーンウッド法説明会	ジャパン建材(株)合板部	新木場タワー
R5.11.8	構造用集成材の製品計画 及び製造に関する講習会	(公社)木材加工技術協会	主婦会館プラザエフ
R5.11.17	合法木材・持続可能木材の供給認定事業者研修会及び木材関連事業者登録の推進セミナー	日本合板商業組合	ANA クラウンプラザ ホテル新潟
R5.11.24	「合法木材利用促進法 (クリーンウッド法)」セミナー	(一社)愛知県木材組合連合会	名古屋木材会館
R5.11.30	クリーンウッド法に関する研修会	全国天然木化粧合単板工業 協同組合連合会	名古屋木材会館
R6.1.19	第 43 回木材保存士資格検定講習	(公社)日本木材保存協会	エッサム神田ホール
R6.2.15	AQ プレカット選別技術者研修会	(一社)全国木材検査・研究会	東京木材会館

(7) クリーンウッド法利用推進事業への協力

合法伐採木材利用促進全国協議会等、合法木材関連の会議に出席した。

6 研修事業

(1) 職員の資質向上のため、次の各種研修・講習会に参加した。

開催日	講習会名称	主催	開催場所
R5.7.20~21	木材接着講習会	(公社)日本木材加工技術協会	木材会館 (東京)
R5.12.18	合板技術講習会	(公社)日本木材加工技術協会 日本合板工業組合連合会	オンライン開催
R6.3.29	審査員技術研修会	(公社)日本合板検査会	オンライン開催

(2) 資格取得状況 (令和 6 年 3 月 31 日現在)

ISO 関連資格

(人)

資格名	令和 5 年度資格取得者数	有資格者総数
I S O 審 査 員 補	0	8
I S O 内 部 監 査 員	0	28

その他資格者

(人)

資格名	令和5年度資格取得者数	有資格者総数
木材接着士	0	40
木材乾燥士	0	39
構造用集成材管理士	0	6
有機溶剤作業主任者	0	19

Ⅲ その他

1 マネージメントレビュー

マネージメントレビュー実施規定に定める会議を開催し、内部監査の結果及びマネージメントレビュー会議の報告を踏まえマネージメントレビューを行った。

(1) 内部監査の実施

事業所名	実施日	事業所名	実施日
北海道検査所	R5.8.15～26	大阪検査所	R5.9.4
東北検査所	R5.10.26	中国検査所	R5.9.7～8
東京検査所	R5.10.6	九州検査所	R5.9.4～5
名古屋検査所	R5.9.22	本部（研究室含む）	R5.10.4, R5.10.13

(2) マネージメントレビュー会議：令和6年1月9日開催

2 公平性委員会

認証業務規程に定める公平性委員会を開催し、本会の認証業務等の公平性について審議を行った。

開催日	開催場所	主な議題
R6.2.29	本部会議室	(1)公平性リスク分析の結果に対する評価について (2)審査、監査、判定、認証登録及び意思決定のプロセスの公平性について

3 定期的調査等

(1) 監事監査

監事による業務の執行及び財産の状況監査が令和5年5月30日に行なわれた。

(2) 登録認証機関の定期的調査

独立行政法人農林水産消費安全技術センターによる定期的調査が行われた。

格付品検査 (件)

格付品検査	20
-------	----

事業所調査、製品検査施設調査及び立会調査

(件)

検査所	事業所調査	製品検査施設調査	立会調査
北海道検査所	1	1	1
東北検査所	0	0	1
東京検査所	0	0	1
名古屋検査所	0	0	1
大阪検査所	2	1	1
中国検査所	0	0	0
九州検査所	0	0	2
本部	1	—	1
研究室	—	0	0
合計	4	2	8

IV 総務関係

1 諸会議

本年度中に開催した主な会議の開催状況

(1) 理事会

回	開催日	開催場所	主な議題
243	R5.6.5	KKR ホテル東京 及び Web 開催	(1) 令和 4 年度事業報告書 (案) 及び決算報告書 (案) の承認について (2) 執行理事の職務執行状況報告書について
244	R5.10.3	KKR ホテル東京	(1) JAS 関係手数料の見直しに伴う諸規程の改定 (案) について (2) 第 166 回評議員会の開催 (案) について
245	R6.3.5	KKR ホテル東京 及び Web 開催	(1) 令和 6 年度事業計画書 (案) 及び令和 6 年度収支予算書 (案) の承認について (2) 第 167 回評議員会の開催 (案) の承認について (3) 理事会スケジュールについて (4) 執行理事の職務執行状況報告 (5) 料金改定について

(2) 評議員会

回	開催日	開催場所	主な議題
165	R5.6.26	KKR ホテル東京 及び Web 開催	(1) 令和 4 年度事業報告書 (案) 及び令和 4 年度決算報告書 (案) の承認について (2) 令和 5 年度事業計画書及び令和 5 年度収支予算書について
166	R5.10.25	KKR ホテル東京 及び Web 開催	(1) JAS 関係手数料の見直しに伴う諸規程の改定について

(3) 所長会議

回	開催日	開催場所	主な議題
204	R5.7.3 ~7.4	AP 東京 八重洲	(1) 各所状況 (2) 令和 4 年度事業報告、決算報告 (3) 理事会・評議員会の報告
205	R5.10.30	AP 東京 八重洲	(1) 料金改定について 検査所別報告
206	R5.11.30 ~12.1	AP 東京 八重洲	(1) 令和 5 年度 (上期) 収入状況について (2) 検査所別報告 (3) 登録認証機関への指導について (FAMIC 関係)
207	R6.2.21 ~2.22	TKP 東京駅	(1) 令和 5 年度収入見込みについて (2) 令和 6 年度所別収入予算について (3) 令和 6 年度収支予算書 (案) について (4) 検査所別報告

2 試験機等

(1) 試験機等の購入

機械器具名	台数	設置場所
恒温乾燥機	2	北海道
恒温水槽	2	東北、東京
スチームテスター	1	大阪

(2) 修繕

機械器具名	台数	設置場所
恒温室	2	北海道、東北、
昇降機	1	大阪

(3) 校正等の実施

機械器具名	台数	該当検査所
引張り試験機	6	北海道、東北、東京、名古屋、大阪、九州
曲げ試験機（万能試験機を含む）	24	北海道、東北、東京、名古屋、大阪、九州
高速液体クロマトグラフ装置	1	大阪

3 役職員人事の概要

(1) 人員構成

単位：人

区分		令和5年3月31日現在	令和6年3月31日現在	増減
役員	常勤	3	3	0
	非常勤	15	15	0
技術職員		39	38	-1
事務職員		8	7	-1
合計		65	63	-2

(2) 事業所別人員構成表（令和6年3月31日現在）

単位：人

区分	常勤役員	技術職員	事務職員	計	検査員	審査員
本部	3	7		10(3)	9(2)	9(2)
研究室		1		1	1	1
北海道検査所		3	1	4	3	3
東北検査所		5	1	6	5	5
東京検査所		5	1	6	5	5
名古屋検査所		5	1	6	5	4
大阪検査所		5	1	6	5	5
中国検査所		3	1	4	3	3
九州検査所		4	1	5	4	4
合計	3	38	7	48(3)	40(2)	39(2)

注) () は常勤役員で内数である。

(3) 役職員の異動と現況

(ア) 役員の退任	0名
(ウ) 職員の退職	2名
(イ) 役員の就任	0名
(エ) 職員の採用	0名

付表 - 1

JAS 認証工場移動状況

農林物資の種類及び区分		令和5年 3月31日 現在	令和6年 3月31日 現在	増減
合板	普通合板	33 (18)	33 (18)	0
	防虫処理普通合板	6 (2)	6 (2)	0
	コンクリート型枠用合板	15 (11)	14 (10)	△1
	低ホルムアルデヒドコンクリート型枠用合板	26 (10)	26 (10)	0
	表面加工コンクリート型枠用合板	13 (6)	14 (6)	1
	低ホルムアルデヒド表面加工コンクリート型枠用合板	7 (1)	7 (1)	0
	構造用合板	9 (2)	9 (2)	0
	防虫処理構造用合板	8 (4)	8 (4)	0
	低ホルムアルデヒド構造用合板	45 (16)	45 (16)	0
	天然木化粧合板	29 (0)	27 (0)	△2
	防虫処理天然木化粧合板	0 (0)	0 (0)	0
	特殊加工化粧合板	45 (3)	44 (3)	△1
	防虫処理特殊加工化粧合板	1 (0)	1 (0)	0
	合板 実工場	132 (22)	130 (22)	△2
フローリング	フローリングボード	10 (1)	9 (1)	△1
	フローリングボード (低ホルムアルデヒド)	13 (2)	12 (2)	△1
	防虫処理フローリングボード	0 (0)	0 (0)	0
	防虫処理フローリングボード (低ホルムアルデヒド)	0 (0)	0 (0)	0
	フローリングブロック	1 (0)	0 (0)	△1
	フローリングブロック (低ホルムアルデヒド)	5 (0)	5 (0)	0
	防虫処理フローリングブロック	0 (0)	0 (0)	0
	防虫処理フローリングブロック (低ホルムアルデヒド)	0 (0)	0 (0)	0
	モザイクパーケット	0 (0)	0 (0)	0
	モザイクパーケット (低ホルムアルデヒド)	1 (0)	1 (0)	0
	防虫処理モザイクパーケット	0 (0)	0 (0)	0
	防虫処理モザイクパーケット (低ホルムアルデヒド)	0 (0)	0 (0)	0
	複合フローリング	51 (5)	49 (5)	△2
	防虫処理複合フローリング	3 (1)	3 (1)	0
	フローリング 実工場	54 (5)	52 (5)	△2
集成材	造作用集成材	58 (6)	58 (7)	0
	化粧ばり造作用集成材	40 (0)	36 (0)	△4
	化粧ばり構造用集成材	11 (1)	8 (1)	△3
	構造用集成材 (大断面)	10 (1)	10 (1)	0
	低ホルムアルデヒド構造用集成材 (大断面)	32 (1)	33 (1)	1
	構造用集成材 (中断面)	17 (1)	16 (1)	△1
	低ホルムアルデヒド構造用集成材 (中断面)	77 (6)	78 (7)	1
	構造用集成材 (小断面)	20 (1)	18 (1)	△2
	低ホルムアルデヒド構造用集成材 (小断面)	87 (8)	87 (9)	0
		集成材 実工場	155 (14)	151 (15)
単板積層材	造作用単板積層材	19 (5)	19 (5)	0
	防虫処理造作用単板積層材	2 (1)	2 (1)	0
	構造用単板積層材	2 (1)	2 (1)	0
	低ホルムアルデヒド構造用単板積層材	13 (2)	13 (2)	0
		単板積層材 実工場	22 (7)	22 (7)
構造用パネル	構造用パネル	0 (0)	0 (0)	0
	低ホルムアルデヒド構造用パネル	1 (1)	0 (0)	△1
		構造用パネル実工場	1 (1)	0 (0)
枠組壁工法 構造用 たて継ぎ材	枠組壁工法構造用たて継ぎ材 (たて枠用たて継ぎ材)	2 (0)	3 (0)	1
	低ホルムアルデヒド枠組壁工法構造用たて継ぎ材 (たて枠用たて継ぎ材)	2 (0)	2 (0)	0
	枠組壁工法構造用たて継ぎ材 (甲種たて継ぎ材)	4 (1)	7 (1)	3
	低ホルムアルデヒド枠組壁工法構造用たて継ぎ材 (甲種たて継ぎ材)	3 (0)	3 (0)	0
	枠組壁工法構造用たて継ぎ材 (乙種たて継ぎ材)	0 (0)	0 (0)	0
	低ホルムアルデヒド枠組壁工法構造用たて継ぎ材 (乙種たて継ぎ材)	0 (0)	0 (0)	0
	枠組壁工法構造用たて継ぎ材 (MSRたて継ぎ材)	1 (0)	1 (0)	0
	低ホルムアルデヒド枠組壁工法構造用たて継ぎ材 (MSRたて継ぎ材)	0 (0)	0 (0)	0
		枠組壁工法構造用たて継ぎ材 実工場	8 (1)	11 (1)
直交集成板	直交集成板	0 (0)	0 (0)	0
	低ホルムアルデヒド直交集成板	9 (0)	11 (0)	2
		直交集成板 実工場	9 (0)	11 (0)
接着たて継ぎ材	接着たて継ぎ材	1 (0)	3 (0)	2
		接着たて継ぎ材 実工場	1 (0)	3 (0)
	実工場計	382 (50)	380 (50)	△2

J A S 認証工場変更届処理数

農林物資の種類及び区分		件数
合板	普通合板	44
	防虫処理普通合板	9
	コンクリート型枠用合板	19
	低ホルムアルデヒドコンクリート型枠用合板	57
	表面加工コンクリート型枠用合板	15
	低ホルムアルデヒド表面加工コンクリート型枠用合板	17
	構造用合板	17
	防虫処理構造用合板	16
	低ホルムアルデヒド構造用合板	92
	天然木化粧合板	12
	防虫処理天然木化粧合板	0
	特殊加工化粧合板	30
	防虫処理特殊加工化粧合板	1
	計	329
フローリング	フローリングボード	14
	フローリングボード (低ホルムアルデヒド)	16
	防虫処理フローリングボード	0
	防虫処理フローリングボード (低ホルムアルデヒド)	0
	フローリングブロック	1
	フローリングブロック (低ホルムアルデヒド)	8
	防虫処理フローリングブロック	0
	防虫処理フローリングブロック (低ホルムアルデヒド)	0
	モザイクパーケット	0
	モザイクパーケット (低ホルムアルデヒド)	0
	防虫処理モザイクパーケット	0
	防虫処理モザイクパーケット (低ホルムアルデヒド)	0
	複合フローリング	90
防虫処理複合フローリング	1	
	計	130
集成材	造作用集成材	54
	化粧ばり造作用集成材	29
	化粧ばり構造用集成材	8
	構造用集成材 (大断面)	3
	低ホルムアルデヒド構造用集成材 (大断面)	54
	構造用集成材 (中断面)	10
	低ホルムアルデヒド構造用集成材 (中断面)	140
	構造用集成材 (小断面)	13
	低ホルムアルデヒド構造用集成材 (小断面)	150
		計
単板積層材	造作用単板積層材	26
	防虫処理造作用単板積層材	4
	構造用単板積層材	3
	低ホルムアルデヒド構造用単板積層材	23
	計	56
構造用パネル	構造用パネル	0
	低ホルムアルデヒド構造用パネル	0
	計	0
枠組壁工法 構造用たて継ぎ材	枠組壁工法構造用たて継ぎ材 (たて枠用たて継ぎ材)	1
	低ホルムアルデヒド枠組壁工法構造用たて継ぎ材 (たて枠用たて継ぎ材)	0
	枠組壁工法構造用たて継ぎ材 (甲種たて継ぎ材)	4
	低ホルムアルデヒド枠組壁工法構造用たて継ぎ材 (甲種たて継ぎ材)	3
	枠組壁工法構造用たて継ぎ材 (乙種たて継ぎ材)	0
	低ホルムアルデヒド枠組壁工法構造用たて継ぎ材 (乙種たて継ぎ材)	0
	枠組壁工法構造用たて継ぎ材 (MSRたて継ぎ材)	3
	低ホルムアルデヒド枠組壁工法構造用たて継ぎ材 (MSRたて継ぎ材)	0
	計	11
直交集成板	直交集成板	0
	低ホルムアルデヒド直交集成板	17
	計	17
接着たて継ぎ材	接着たて継ぎ材	1
	計	1
合計		1005